

平成 22 年 度

# 決 算 報 告 書

第 7 期

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

# 平成22年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入	91,078	96,684	5,606	
運営費交付金	34,272	34,272	0	
施設整備費補助金	6,571	5,972	△599	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	2,965	4,417	1,452	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	89	81	△8	(注3)
自己収入	35,891	38,737	2,846	
授業料、入学金及び検定料収入	9,428	9,259	△169	(注4)
附属病院収入	26,004	28,357	2,353	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	459	1,121	662	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	10,782	12,667	1,885	(注7)
引当金取崩	35	35	0	
長期借入金収入	233	233	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	240	270	30	(注8)
計	91,078	96,684	5,606	
支出	91,078	92,063	985	
業務費	65,553	65,497	△56	
教育研究経費	40,245	37,159	△3,086	(注9)
診療経費	25,308	28,338	3,030	(注10)
施設整備費	6,893	6,286	△607	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	2,965	4,362	1,397	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	10,782	11,042	260	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,885	4,876	△9	(注14)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	91,078	92,063	985	
収入－支出	0	4,621	4,621	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の計画変更により、予算額に比して決算額が599百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,452百万円多額となっています。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付額の変更により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、学生在籍者見込数の減などにより、予算額に比して169百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、患者数、手術件数の増及び診療報酬改定による増収のほか、平均在院日数の短縮に伴う診療単価の増により、予算額に比して決算額が2,353百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、保育所新設に伴う保育料の増収及び著作権及特許権収入や財産貸付料などの増収により、予算額に比して決算額が662百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金の受入れ増により、予算額に比して決算額が1,885百万円多額となっています。なお、受託研究費等の前期からの繰越額は482百万円となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、退職者の減及び雇用計画の見直し等による人件費の減、国等の補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が3,086百万円少額となっています。
- (注10) 診療経費については、患者数等の増に伴う診療費用の増により、予算額に比して決算額が3,030百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、施設整備費補助金の計画変更により、予算額に比して決算額が607百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,397百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の受入件数の増により、予算額に比して決算額が260百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。